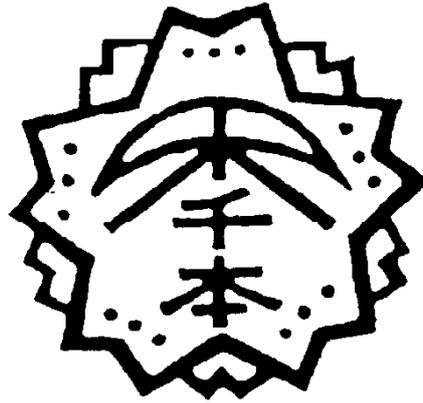


令和7年度

運営に関する計画・自己評価



大阪市立千本小学校

令和8年2月

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

○ 本校の学力面での現状について、令和6年度の学力経年調査の国語と算数の結果は、大阪市の平均より下回っている。具体的には、国語の標準化得点の平均が97.6%、算数の標準化得点の平均が97.2%となっている。令和4年度からは向上したが、依然低い水準となっている。

体力テストの結果においては、令和6年度では、男女共に全国・大阪市平均を下回っている。特に、反復横跳びと立ち幅跳び、シャトルランの3種目については、大きく下回る結果になっている。

生活面について、小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に「思う」と回答する児童の割合は79.3%と決して高くない状況である。また、不登校児童の在籍比率は令和6年度で2.1%となっている

学びを支える教育環境の充実の項目では、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする項目が7.7%と低かった。また、第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を73.1%以上にする項目は76.92%と低い状態である。

**中期目標**

**【安心・安全な教育の推進】**

安心・安全な教育環境の実現と豊かな心の育成

○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。

令和4年度78.2% 令和5年度80.1% 令和6年度79.3% **令和7年度78.1%**

○ 校内児童アンケート「学校に行くのは楽しいと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上に増加させる。

令和4年度82% 令和5年度86% 令和6年度89% **令和7年度89%**

○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を5%以下にする。

令和4年度 4.6% 令和5年度 1.2% 令和6年度2.1% **令和7年度1.26%**

○ 校内児童アンケート「おはようございますとあいさつをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上に増加させる。

令和4年度88% 令和5年度93% 令和6年度90% **令和7年度92%**

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

誰1人取り残さない学力の向上と健やかな心の育成

○ 令和7年度の小学校学力経年調査における国語、算数の平均正答率の対全国比を1.00以上にする。

**令和6年度 3年国語 0.92 4年国語 0.96 5年国語 0.84 6年国語 0.89**  
**3年算数 0.96 4年算数 1.02 5年算数 0.73 6年算数 0.87**

○ 令和7年度の全国体力運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比を1.00以上にする。令和4年度0.91 令和5年度 0.95（男子0.91と女子0.98の平均）令和6年度 0.91（男子0.92と女子0.90の平均）**令和7年度0.98(男子0.99と女子0.98の平均)**

**【学びを支える教育環境の充実】**

教育DXの推進、人材の確保・育成としなやかな組織づくり、家庭・地域と連携した教育の推進

○ 令和7年度末の学校児童アンケートの「パソコンやタブレットを使った学習が楽しい」の項目について肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。**令和7年度96%**

○ 教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教員の割合（基準1）を、80%以上にする。

令和5年度73.08%（12月時点） 令和6年度76.92%（12月時点）**令和7年度 84%(12月時点)**

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安心・安全な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80.2%以上にする。令和4年度78.2% 令和5年度80.1% 令和6年度79.3% **令和7年度78.1%**
- 校内児童アンケート「学校に行くのは楽しいと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度以上に増加させる。令和4年度82% 令和5年度86% 令和6年度89% **令和7年度89%**
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。令和4年度4.6% 令和5年度1.87% 令和6年度2.1% **令和7年度1.26%**
- 校内児童アンケート「おはようございますとあいさつをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度以上に増加させる。令和4年度88% 令和5年度93% 令和6年度90% **令和7年度92%**

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。  
令和4年度 4年国語+0.18 5年国語+0.09 6年国語+0.02  
令和5年度 4年国語+0.10 5年国語-0.04 6年国語+0.00  
令和6年度 4年国語+0.10 5年国語-0.03 6年国語-0.01  
**令和7年度 4年国語+0.18 5年国語-1.50 6年国語+2.7(対大阪市比)**
- 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。  
令和4年度 4年算数+0.03 5年算数+0.08 6年算数-0.02  
令和5年度 4年算数+0.02 5年算数+0.06 6年算数+0.11  
令和6年度 4年算数+0.11 5年算数-0.12 6年算数-0.05  
**令和7年度 4年算数+2.4 5年算数+1.7 6年算数+3.3(対大阪市比)**
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を昨年度以上にする。令和4年度70.3% 令和5年度69.7% 令和6年度74.6% **令和7年度70.3%**

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（学校行事等でICT活用が適さない日を除く）令和6年度7.7%（12月時点） **令和7年度51.1%(12月時点)**
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を76.92%以上にする。令和5年度73.08%（12月時点） 令和6年度76.92%（12月時点） **令和7年度84%(12月時点)**
- 地域の方や保護者と連携した学習活動を各学年が年2回以上行う。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

### 【安心・安全な教育の推進】

いじめについて正しい意識をもっている児童が多く、学校を楽しんでいる児童も多い。そのため、不登校児童の在籍比率は改善されてきており、安心・安全な学校づくりができた。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学力経年調査の結果では、いずれの学年も概ね学力の向上が見られた。特に4年、5年の算数では標準化得点で100を超える結果となった。6年が国語・算数ともに昨年度より3ポイント向上する等、対全国比についても目標達成の見通しとなった。体力合計点は対全国比1.00には届かなかったものの、0.98と高い水準となり、一定の体力向上を実現できた。

### 【学びを支える教育環境の充実】

学習者用端末の活用率が向上し、目標を達成することができた。働き方改革についても全教職員で校務を見直し、目標を達成することができた。児童の学びの環境も教職員の働く環境もよりよいものとなった。

(様式2)

大阪市立千本小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安心・安全な教育の推進】</b> ○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80.2%以上にする。令和5年度 80.1% (令和4年度 78.2%) 令和6年度 79.3% <b>令和7年度78.1%</b> ○ 校内児童アンケート「学校に行くのは楽しいと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度以上に増加させる。 令和5年度 86% (令和4年度 82%) 令和6年度 89% <b>令和7年度89%</b> ○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 令和5年度 1.2% (令和4年度 4.6%) 令和6年度 2.1% <b>令和7年度1.26%</b> ○ 校内児童アンケート「おはようございますとあいさつをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度以上に増加させる。 令和5年度 93% (令和4年度 88%) 令和6年度 90% <b>令和7年度92%</b>	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめのない学校づくりに取り組む。	B
指標 ○各学年でいじめの問題を取り上げた話し合いを学期に1回行う。 ○全教職員で気になる子どもや集団の様子を毎学期2回以上交流する。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 誰もが安心して登校できるようにする。	B
指標 ○ 長期欠席児童については、学期に2回以上生活指導部会で話し合いを行う。 ○ 学期に1回以上、スクリーニング会議Ⅱ等の会議で課題を共有し、関係諸機関と連携して児童・保護者への関わりを行う。 ○ 全校での芸術鑑賞を年1回行う。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 気持ちのよいあいさつができるようにする。	B
指標 ○ 各学年のあいさつ指導についての実践交流会を学期に1回行う。 ○ 児童会を中心とした、全校でのあいさつ運動を学期に1回行う。 ○ チェックカードにより自己のあいさつを振り返られる活動を学期に1回行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
・あいさつの取り組みは工夫されている。児童会あいさつビンゴ・あいさつボランティア、道徳であいさつカードの活用など積極的に行っている。 ・取り組み内容は①～③ともに行うことができた。目標を上回った取り組みはしていないが、4つ最重要目標のうち3つは目標を上回って達成することができた。	
今後の改善点	
・「昨年以上」の表現をしていると達成が難しい割合になってきている。 ・高学年のあいさつボランティアの参加率が少ない。 ・限られた時間の中で、効果的な施策を続ける。 ・最重要目標の「いじめ」の項目のみ8割を切っている。	

(様式2-②)

大阪市立千本小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。            令和4年度 4年国語+0.18 5年国語+0.09 6年国語+0.02            令和5年度 4年国語+0.10 5年国語-0.04 6年国語+0.00            令和6年度 4年国語+0.10 5年国語-0.03 6年国語-0.01  <b>令和7年度 4年国語+0.18 5年国語-1.50 6年国語+2.7(対大阪市比)</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。            令和4年度 4年算数+0.03 5年算数+0.08 6年算数-0.02            令和5年度 4年算数+0.02 5年算数+0.06 6年算数+0.11            令和6年度 4年算数+0.11 5年算数-0.12 6年算数-0.05  <b>令和7年度 4年算数+2.4 5年算数+1.7 6年算数+3.3(対大阪市比)</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を昨年度以上にする。            令和4年度 70.3% 令和5年度 69.7% 令和6年度 74.6% <b>令和7年度 70.3%</b></p>	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】            子どもが安心して自分を表現でき意欲的に学びあえる授業となるように工夫する。            ・友だちと対話し、学びが深まる授業を展開する。</p> <p>指標            ○ 教材やICTを活用し(毎日)、児童アンケートで「授業を楽しんで取り組んでいる」項目に対し肯定的に回答する割合を90%以上にする。令和6年度89% <b>令和7年度83%</b>            ○ 自分の意見を発表する場や、ペア・グループワーク活動(1日2回)を取り入れ、児童アンケートで「授業で自分の意見を伝え合っている」項目に対し、肯定的に回答する割合を81%以上にする。令和6年度80% <b>令和7年度77%</b></p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】            児童の体力向上に取り組む、進んで運動する子どもを育てる</p> <p>指標            ○ 体育委員会による、全児童が運動に親しむ機会を年に2回以上行う。            ○ 体育科に関する校内研修を年間3回以上行い、授業改善を行う。</p>	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書を活用し視覚的にわかりやすく授業をした。またデジタルドリルも活用した。</li> <li>ペアワーク、話し合い活動を積極的に取り入れている。</li> <li>数値はおおむね達成している。学校全体も落ち着いて取り組めている。</li> <li>縄跳び、かけ足はもっと長くしてもよい。</li> </ul>	
今後の改善点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年はICTの活用が難しいので、高学年との連携を検討する。体育はワークシートや指導法を共有すべき。他学年の授業の取り組みの交流を実施したい。</li> <li>ICTを活用し、学習の成果や調べたことを発表したり話し合う時間が増えるといい。</li> <li>指標の数値が高いので、設定の仕方を考えなおす。</li> <li>千本タイムを増やした、今後も継続して取り組む。ミニ研修会など開催し、教員の輪を広げる。</li> </ul>	

(様式2-②)

大阪市立千本小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b> ○ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(学校行事等でICT活用が適さない日を除く) 令和6年度7.7%(12月時点) <b>令和7年度 51.1%(12月時点)</b> ○ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を76.92%以上にする。令和5年度73.08%(12月時点) 令和6年度76.92%(12月時点) <b>令和7年度 84%(12月時点)</b> ○ 地域の方や保護者と連携した学習活動を各学年が年2回以上行う。	A
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 学習者用端末の朝の時間や学習時間の利用を推進する。	B
指標 ○ 毎日、心の天気を入力する。 ○ 毎日、下校までに心の天気の入力を確認する。 ○ 学力向上部会で毎月1回学習者用端末の活用状況を確認する。 ○ 毎週1回以上、児童の端末を心の天気以外で活用する。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 効率よく校務を進められるようにする。	
指標 ○ 校務の内容や会議の内容を見直す機会を学期に1回設定する。	B
取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 地域、保護者と連携・協働して環境整備を行ったり、様々な体験活動を実施したりする。	B
指標 ○ 地域、保護者、学校が連携し、芝生の環境整備を月に2回以上実施する。 ○ 地域の方を講師に招き、なにわ伝統野菜を栽培する。 ○ 地域の人的資源を活用し、落語体験学習を実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
○端末活用率や勤務時間について目標を達成することができた。 ○心の天気の入力や確認、毎月1回の活用状況の確認が計画通りに実施することができた。 ○端末は心の天気以外にミライシード、かんじスキル、Teamsの課題提出等、様々な端末活用ができた。 ○校務の内容について意見を集約し、全職員で検討することができた。 ○地域や保護者と連携した学習活動を計画通り進めることができた。	
今後の改善点	
○児童端末の効果的な活用場面や活用方法を検討する。 ○情報モラル教育を進める。	